

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとりまします。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

今週の紙面

- 2面 女性ニュース
- 3面 読者のページ/まんが/パズル
- 4~5面 仁和寺前にホテル建設? / 女性&メディア/ホット
- 6面 戦争特集テレビ番組/文化情報/母の歴史
- 7面 新婦人のページ/主張/自然とあそぼう!



新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

本の世界に入り込むひととき



夏 平和のこと、世界のこと おすすめの絵本



春は花でいっぱいになり、夏は果物の香りが満ちるパグマン村。ヤモは戦争に行った兄さんのかわりに市場へさくらんぼを売りにでかける。
小林豊 作・絵/ポプラ社 1200円+税

『せかいいちうつくしいぼくの村』は、作者が見た、今はもうない村のことを描いています。アフガニスタンでは、人々

人びとの暮らし

が生活を営み、家族と暮らしていた村がいくつも戦争でなくなりました。戦争の恐ろしい表現は出てこないけれども、戦争がどんな事態を引き起こすかがわかります。

『どうぶつ会議』は、第二次

世界大戦の4年後に書かれた本です。人間たちは世界平和を維持するために国際会議を開くけれど、国の交渉は決裂し、原爆も紛争もいつまで経ってもなくなりません。それをみて怒った動物たちが、人類が最も震



真夜中、ショウがサイレンの音で目を覚ますと、かおるちゃんの家で火が燃え上がっていた。翌日、火事のことを話すかおるちゃんが、ショウには急に大人に感じられて…。
長谷川集平 作/理論社 1400円+税

僕のいち押しはこの本、『ファイアー』です。頭の固い大人は読んで「なんだこりゃ」と首をかきあげますが、子どもたちの

今年も平和の夏がやってきます。昨年から続くコロナ禍で、子どもたちに直接戦争や被ばくの実相を伝えることが難しくなるなか、絵本をとおして原爆のことや平和の大切さを学ぶ機会を持ってみませんか。子どものための本選びが評判の「こどもの本屋 てんしん書房」の中藤智幹さんがおすすめの本を紹介します。

どこかで起きて いる生と死



「こどもの本屋
てんしん書房」店主
中藤智幹さん

心には残ります。買っていった3歳の子のお母さんが「この本をずっと読んでるんですよ」と驚いています。夢と現実、日常と非日常が交差する時に、どこかで繰り返されている生と死

が突然身近に感じられる。僕はこの本をお守りにして今の時代を生きています。
次は、寓話のようなお話です。「かあちゃんのジャガイモばたけ」は、戦争というよりは兄弟げんか。傷ついて、お腹をすかせて争い合うことがどんなにむなしなものか、肝っ玉母ちゃんは知っている。絵のきれいな絵本です。



ジャガイモをつかって、2人の息子を育てていたかあちゃん。ところが息子たちが西軍と東軍に分かれて戦争をはじめてしまう。
アニタ・ローベル 作/まつかわまゆみ 訳/評論社 1400円+税



エーリヒ・ケストナー 文/ヴァルター・トリアー 絵/池田香代子 訳/岩波書店 2500円+税

え上がることをするんです。物語は長いけど、低学年の子どもにも分かりやすい内容です。

『しあわせなときの地図』は、メッセージが子どもには少し難しいかもしれませんが、町を



フラン・ヌーヴォー 文/スザンナ・セレイ 絵/宇野和美 訳/ほるぷ出版 1400円+税

逃げなければならなくなった10歳のソエが地図でたどった、自分の家、学校、公園や図書館。人が暮らす場所がどんなにかげがえのないものか、最後のページでわかります。

8月14日号は休刊です

